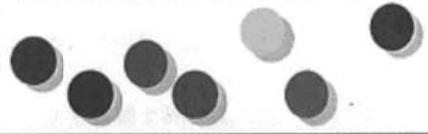


# 生きいき憲法

日野原重明

東京の九条の会をつなぐ



九条の会  
東京連絡会



## 憲法に還れ

都丸哲也

昨年十二月十七日に、政府は新しい「防衛大綱」と「中期防衛力整備計画」を発表した。今後五年間に約二十三兆五千億円という莫大な軍事費をつぎ込むという。それによると、南西地域を重視して自衛隊を強化し、弾道ミサイル防衛の補強など「動的防衛力」の充実を目指すとしている。日本国憲法第九条は、国連決議でも述べられているように、「核兵器の出現により、最早戦争を

外国の侵略から国家の独立と国民の人権を守るための最後の手段であるという伝統的な考え方は成り立たない」との認識が内在している。菅首相が強調する日米軍事同盟を重視し、抑止力を高めるといふ考え方は、アジアに対するアメリカの軍事的干渉の手助けをすることであり、戦争を否定する国際的常識とは相容れない。なにより「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を希求し、国権の発動たる戦争と武力による威嚇又は行使は国際紛争を解決する手段としてはこれを放棄する」と宣言した日本国憲法の生命、第九条に違反することを指摘しなければならぬ。

併せて、「この憲法は国の最高法規であつて、この条規に反する法律、命令、詔勅及び国務に関するその他の行為の全部又は一部は、その効力を有しない」とする九十八条と、「天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ」という第九十九条。ここにてらして菅首相の言動は異常という他はない。この国の政治は憲法に従って行わなければならないのであり、立憲主義、法治主義の否定は許されない。

(とまる・てつや 九条の会東京連絡会・事務局代表、元保谷市長)

発行 九条の会東京連絡会 〒101-0064 東京都千代田区猿樂町1-4-8松村ビル401 TEL 03-3518-4866

FAX 03-3518-4867 ホームページ [www.9jo-tokyo.jp](http://www.9jo-tokyo.jp) メールアドレス [mail@9jo-tokyo.jp](mailto:mail@9jo-tokyo.jp)

ニュースのタイトル「生きいき憲法」は日野原重明さん(聖路加国際病院理事長)の命名・揮毫によるものです。

### 第3回懇談会の記録 東京9条まつりの成功を草の根の会の 発展にどうつなげていくかで交流

去る1月31日(月)18:00~20:20、けんせつプラザ東京の5階会議室で「第3回懇談会」が開催され、今後の活動について議論しました(参加者42人)。

最初に事務局から次のように議題が提案されました。昨年の「東京9条まつり」は30もの会場が一杯に溢れ、寄せられた感想を見ても大成功だったと言える。今年、その成功を草の根の会の発展にどうつなげていくか、それをみなさんと話し合いたい。具体的な検討項目としては3点提起したい。①「まつりⅡ」をやるかどうか、やるならいつやるか。②今年の秋に大きな講演会を持つかどうか。③今年の春は都知事選があるが、その候補者に憲法九条に対する姿勢を問う「公開質問状」を出したらどうか。

この報告を受け、自由に討論しました。その中では次のような意見が出されました。

★個人的意見ですが、「まつり」については、次回をいつやるかを早めに確定して、それを念頭に草の根の活動を組み立てた方がいい。「まつり」と地元の草の根活動が自転車の両ペダルになって前進するような運動サイクルを確立するのが良い。具体的には来年6月に「まつりⅡ」を開催したらどうか。その際、昨年の規模や形にこだわる必要はない。無理なく実現可能で草の根にプラスになる規模や形でやれば良い。

★東京連絡会の役割は、①逼迫した情勢の時には大胆に動

く、②そうではない時にはきちんとスケジュールを汲んで草の根の運動を広げる、の2つだと思う。規模や形にこだわらないのであれば、来年6月でいいと思う。まあ1000人ぐらいの規模なら無理なくできるだろう。そしていざ逼迫した情勢になったら1万人ぐらい動かせるようになればいい。

★中央区ですが、昨年の「まつり」では「築地直送の珍味で一杯」と戦争体験をまとめた冊子とをセットで500円で販売しました。おかげで中央区での活動を広めながら財政改善にもなるというありがたい効果がありました。また公園でバーベキュー「ミニまつり」をやろうという話も出て、活動に刺激をもらいました。そういう経験から言うと、「まつり」を適度なテンポで開催するのは地域の会にとってもプラスがある。

★墨田区です。いま若い人が9条以外(例えば25条とか)でも憲法を学びたがっている。そういう広がりをつけるのは大事ではないかと思う。小澤隆一さんの講演を聞いたら、民主党は自民党以上に危険だと思った。運動を柔軟に広げることが大事だ。

★群馬と東京を行き来している者です。今、様々な角度から憲法9条と切り結ぼう、という話があったので私も原発の話をして。日本には原発が沢山ある。そういう国では通常兵器での自衛戦争なんてありえません。原発を攻撃されたら核兵器並みの被害が

でる。だから九条で戦争しないという以外には安全は守れないのです。そういうことも訴えていきたい。

★大田区です。結論から言うとやや消極的な意見です。東京連絡会ができて「まつり」も成功したけど、東京連絡会をやろうという合意が東京全体としてはまだまだ弱いと思う。これを補強していかないと、イベントだけどんどん進めても、足元から崩れるということになりかねない。それを危惧します。まずはどうやって基盤を強化するかという議論をやらなければいけない。また「公開質問状」は誰が代表して発表するのか? どこがそれを合意するのか? 情勢から言えば質問状を出すことに反対ではないが、そういう手続きをきちんとしないと運動が危うくなる。

★本郷です。九条の会の灯を消さないためには何かやった方がよいと思う。ただ、何をやるのか、それはみんなで議論して決める必要がある。そうした議論のためには「こういうのはどうか?」という具体案をいくつか出してもらって議論した方がよい。そうしないと漠然とした議論に終わってしまう。来年6月という提案に不安を覚える人もいるようだが、具体的に議論しないと形が見えてこない。私は、メーデーが労働者の祭典であるように、九条の祭典が毎年あってもいいと思う。

★土建です。土建ではいろいろな意見を聞いたけど「あのような大きなイベントは3~5年に1回でいいのでは」という意見が多かった。またいろいろ支援するよう頑張ったけど、実際に当日参加した人数は少なかった。それでは「ま

つり」の成果が土建になかなか返ってこないと思う。

★杉並です。杉並では、「まつり」について、最初は「そんな大企画はやるべきでない。草の根活動を奨励すべきだ」という意見が多かった。そういう意見はまだあるが、かなり前向きな意見が増えました。でも、今後さらに広げるなら、これまでのような実行委員会形式では無理だと思う。杉並では東京連絡会担当を置くという体制をとった。全ての区や市の会がそういう体制をとって、系統性をもたせて取り組まないと、（実行委員会形式のように）やりたい人がやる、では続かないと思う。

★東大和市です。やはり来年6月はきついと思う。3年に1回ぐらいにして欲しい。「小学校区単位で広げる」という九条の会の基本が曖昧になっているのではないかと思う。東大和でも映画上映や憲法集会など大規模な企画をやったが、それで小学校区単位という気運が高まったかと言えば、そうでもない。「まつり」でも同じなのではないか。若い人に広げる、事務局を拡大強化するなど、弱点を克服しながら進めることだ。

★あきる野市です。「まつり」では五日市憲法の企画を出しました。その講師の方から年賀状が届きましたが、読んでみると、やはり「まつりが印象深かった」との感想でした。やはり大成功だったんだと改めて思いました。しかし、これを地元の活動にどう活かしていくのか。あきる野全体で3000人の会員がいるが、「まつり」参加者は45人しかいなかった。でも「まつり」で刺激を受けて、あれやろう、これやろうというアイ

デアは広がっている。

★稲城市です。「まつり」では登戸研究所の企画を出しました。参加したことを地元はどうフィードバックしたらいいのか、まだはっきりしていない。また東京連絡会の存在感をどう高めるか。これは財政問題にも結びつくこと。これが肝心だ。

★江北です。サイクルをどうするかにこだわる必要はないが、やった方がよいと思う。規模や形はこれだと決めないでやるなら、去年の経験もあることだし、大丈夫と思う。

★墨田区です。たとえ小さくしてでも毎年、旗を掲げることは大事だと思う。

★NPJです。「まつり」ではライブ中継をネットで流しました。今、チュニジア、エジプトでの反政府デモはネットで起きている。ネットの活用は今後ますます重要になってくる。NPJは協力するつもりなのでどんどん活用してほしい。

★豊島区です。NPJについて補足発現します。NPJではイベントの案内も載せてい

ます。イベントをする際にはぜひ連絡を下さい。

新聞OBです。「まつり」や講演会については次回も継続審議でいいと思うが、「公開質問状」については今日話し合う必要があるでしょう。私は、これはきわめて当然の活動だ、やるべきだと思います。

★国税OBです。私も同意見です。

★私も「公開質問状」は大賛成です。もちろん、さっき指摘があったように、責任の所在をはっきりさせる、などは必要な事ですが。次回の懇談会では「質問状」の文案を提案してほしい。

以上のような討論を経て、最後に事務局からまとめの発言がありました。「まつり」や大講演会など、今年の活動については、2月28日の懇談会で引き続き討論をします。

「公開質問状」については具体的な文案と進め方のたたき台を出します。

(平野 健 記)

### 東京9条まつり C会議室 午後「反基地の闘い」報告

今、とても熱いトピックである基地問題をテーマに講演をいただきました。

まず、米兵による強盗殺人山崎事件を主題にした、ご遺族の山崎正則氏と高橋宏弁護士からのお話では、驚愕的な米兵犯罪の実体が明らかになりました。次に、恵庭事件、長沼事件等に精力的に取り組まれていらした橋本左内氏に、豊富な資料や写真を基に市民運動の

観点から反基地闘争を生々しく熱く語っていただきました。最後に、砂川刑特法事件、百里基地裁判、恵庭事件裁判等で闘われた内藤功弁護士に、「憲法9条から沖縄・安保をみる」と題して、安保の歴史的経緯から安保を終了させるための問題提起まで横断的にお話いただきました。会場は常に満席、みなさん大変熱心に聴き入り大盛況でした。講演者の方々の書籍やパンフも売り切れ御免の大好評でした。

(高石育子 記)

地域から



## 調布九条の会の活動

大野哲夫 (調布「憲法ひろば」事務局長)



2004年7月ごろから「九条の会」の呼びかけに応じて調布でも憲法を守り生かす運動を始めようということで集まり始めました。初めて会う人が自己紹介をし憲法とのかかわりを話していきます。回を重ねると、なかなか一回りするのも大変な人数になってきました。ある日「会場を確保したから12月8日に初めての集会をしよう」という提案がありました。突然のことで賛否両論が戦わされました。参加者は何かしようという意欲にあふれていましたので、会は実行委員会に切り替えられ事務局として10人ほどを選びました。

12月8日は九人の女性が日常のなかから憲法を問い直すという仕組みで、調布在住の奥平康弘さん、竹内常一さん、堀尾輝久さんとの対話をしてもらうという形式をとりました。九人の女性是对話を重ねシナリオを練り上げていきました。当日は480人の参加で、憲法「九条の会」調布のひろば(略称;調布「憲法ひろば」)を発足させました。最低限度の申し合わせがあるだけで、規約というものもなく代表者もない世話人会が運営していくという形になり

ました。

2005年2月に第1回の例会を開いてからほぼ1カ月に1回開いてきましたので2011年3月20日の例会は第61回の例会となります。例会の度に発行する「にゅーす」も1月までに72号を数え、これらの活動はホームページでも閲覧できるようにしています。

2005年から2008年まで、夏に一泊の合宿を行いました。会場は八王子の大学セミナーハウスを使いました。学習ばかりでなくておおいに交流できました。しかし何とんでも講師のお話です。川村俊夫さん、渡邊治さん、梅林宏道さん、小森陽一さんに来ていただくことができました。

費用と時間の点で集まるのが難しいということがあり、2009年からは「調布のひろば」の最強の講師陣で充実した例会を3人の報告にもとづいて討論する会に切り替え、合宿の名残も残そうと夕刻から食事をしながら会の運営などの意見も交換する「ロングラン例会」にとりくみました。

例会の講師についても、座間・横須賀で基地と戦っている方の報告を聞いたり、沖縄

からは琉球新報の松元記者に来ていただいたこともありました。また砂川基地闘争の跡や横田基地を見学しました。

2006年ソウル、2007年沖縄、2008年中国東北部を旅して日本国憲法を考えました。

2005年の1周年記念には実行委員会形式で映画「父と暮らせば」の上映と一周年の集会を開きました。2006年の2周年集会は2004年に続いて手作りの集会。2007年は奥平康弘さんの講演会。この日は台風接近で大変な夜でしたが奥平さんの熱弁に感動しました。2008年は演劇企画集団「人(じん)」に朗読劇をお願いし、市内の九条の会や平和運動にかかわるグループに報告も兼ねて出演をお願いしました。夜は懇親会でしみじみとしたお話や若者のこえが聞けました。2009年は池田香代子さんの講演と島筒英夫さんのピアノ。

「こんご周年集会は10周年に集中しよう」と話し合っています。その代わり例会を充実させていきたいとも話し合っています。

4周年のころから世話人会を担ってきた人たちにも個人的な環境の変化——親の介護、新たな仕事の忙しさなど——があって、会にみんなの意見を反映する方法として、世話人の人数を増やし、実務部門として事務局も作り、最小限度の会則もつくって、昨年8月の「ロングラン例会」を期して新しい体制ですすめることにしました。新しい世話人は22人、そのうち9人が事務局を担当します。第2回の世話人会を開いたところです。

(2011年2月14日)